

What he left behind in
writing and drawing

えがかく

菅江真澄
遺墨資料展

秋田県立博物館
開館50周年記念

菅江真澄
遺墨資料展

秋田県立博物館
開館50周年記念
企画展

文字と図絵から
真澄の記録の輪郭を辿る

花紋石

[illegible]

2025 9/27 (土) ▶ 11/16 (日)

【休館日】 月曜日（休日と重なった場合は次の平日）

(上/左右の人物)『雪の道奥雪の出羽路』
(左下)『雪の秋田根』(右下)『みかべのよろい』
いずれも国重要文化財「菅江真澄遊覧記」
(背景文字)「久保田の落穂」

【会 場】秋田県立博物館 企画展示室
【観覧料】無 料

AKITA PREFECTURAL MUSEUM

秋田県立博物館



かく、えがく。

—菅江真澄遺墨資料展—

江戸時代後期の紀行家・菅江真澄は、各地を旅して歩くなかで、様々な記録を残しました。その内容は日記・地誌・随筆・図絵集など多岐にわたります。本展「かく、えがく。」では、そうした真澄の記録を、それぞれの手法や内容に準じて分類整理し、項目立てで紹介します。



『月の出羽路仙北郡 10 巻』※1

※1～4 はいずれも国重要文化財「菅江真澄遺墨記」

序章 菅江真澄とは

真澄の人物像、旅の目的など

第1章 かく

記す（日記）

詠む（和歌短冊・軸装）

ことば まじな 寿ぐ／呪う（応需書）

写す（手沢本・書写本）

綴る（随筆）

編む（地誌）

伝える（書簡）

第2章 えがく

自然（山河、海、沼瀉湖、滝、石岩など）

動植物（鳥、魚、草花、木など）

もの（白、土器、古銭など）

祈り／願い（神社、寺院、修験、板碑など）

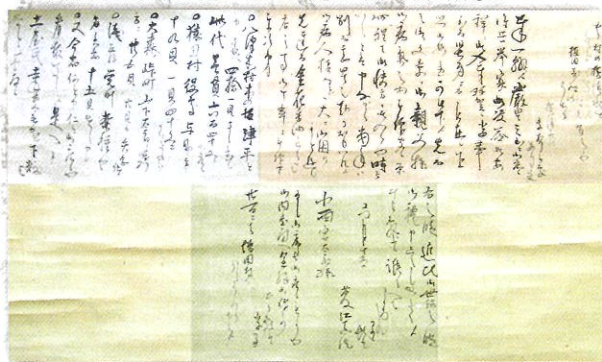
人々の暮らし

終章 最期に記したのは



詠歌題「幽栖春月」

下「小西宮太郎宛書簡」／背景『雪の秋田根』※2 人物『氷魚の村君』※3



『雪の出羽路平鹿郡 11 巻』※4

関連事業

真澄に学ぶ教室 講演会

「真澄が見た生活風景－働く女性たちを中心に－」

【日時】 11/9（日）13:30～15:30

【会場】 当館講堂

【講師】 菊池勇夫氏（宮城学院女子大学名誉教授）
一関市博物館館長

【定員】 80名 申込み要

展示解説会

【日時】 9/27（土）・10/26（日）・11/16（日）

いずれも 14:00～15:00

【解説】 角崎 大（当館学芸職員）

【定員】 なし 申込み不要

Access

▶ JR

奥羽本線・男鹿線

「追分駅」下車 徒歩 20 分

▶ バス

秋田中央交通五城目線

「金足農業高校入口」下車

徒歩 15 分

▶ 自動車

秋田自動車道

「昭和男鹿半島 IC」から 10 分

「秋田北 IC」から 15 分



〒010-0124 秋田市金足鴻崎字後山 52

ホームページ・Instagram・
Facebook あります。

秋田県立博物館



TEL 018-873-4121

FAX 018-873-4123

MAIL 右の QR コードから



AKITA PREFECTURAL MUSEUM

秋田県立博物館